

WPA NTO 資格試験 2023 年 4 月期実施要項

国内での世界パラ陸上競技連盟(WPA)公認大会の充実を図るために WPA 資格である NTO 試験を開催します。合格者は JPA NTO 規程により活動いただくこととなります。WPA 及び IPC アカデミーは、インターネットによる NTO 資格取得コース(英語のみ)を導入しております。世界中どこからでも、誰でも参加することができ、規定のスコアを獲得すれば、NTO 資格を取得することができます。しかし、日本国内で NTO として活動するには、本連盟主催の NTO 講習会で試験に合格することが条件となります。

1. 主催 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

2. 公認 世界パラ陸上競技連盟 (WPA)

3. 対象者

2023 年 4 月期の募集は、東京パラリンピックに参加した WA NTO に加え、新規の資格取得希望者も対象とします。

4. 参加資格

- ① パラリンピック東京大会(2021 年 9 月)に参加した WA NTO で WPA NTO 資格取得希望者
- ② ①に該当しないが WPA NTO 資格取得を希望する日本陸連公認審判員資格保持者 (A 級以上)

JPA NTO 規程の定めにより日本陸連加盟団体(都道府県陸協)の推薦は必須条件。

<https://para-ath.org/wp-content/uploads/2022/04/20220406.pdf>

5. 募集人数 50 名程度

6. 参加費用

受講料は不要。交通費と宿泊費は自己負担とします。

ただし対象者①(パラリンピックに参加した WPA NTO)には旅費宿泊費合計が一定額を超える場合、差額を補助します。※補助の適用については別途詳細を定めます。

7. 実施日 2023 年 4 月 8 日(土)~9 日(日) 2 日間

8. 会場

日本財団パラスポーツサポートセンター内会議室

東京都港区赤坂 1-2-2

<https://www.parasapo.or.jp/about/#access>

9. 実施日程

第1日 午後

講義：WPA 規則

第2日 午前

筆記試験(WPA NTO 試験)

午後

試験問題についての解説

10. 試験の構成

筆記試験：WPA NTO 資格取得のための世界共通試験問題の日本語版(80%以上の正答が必要)

実地研修：対象者① パラリンピックを経験したので免除

：対象者② 筆記試験で基準点に達した候補者は4月以降に開催される指定大会に計2日間、WPA NTO 候補者として参加し実地経験を積むことでWPA NTOとして認定

11. 講師 WPA 認定講師

12. 応募方法

2月1日(水)～3月10日(金)にJPA 競技運営委員会宛て、添付の申込書を送付のこと。

所属する陸協の推薦書を添付するか、申込書に陸協の承認印が必要となります。

募集期間内に、応募者が定員を超えた場合、途中で募集を締め切ることがあります。JPA ホームページでの公表を公式のものとするので常に確認ください。

<https://para-ath.org/contents/code/committee/committee2>

申込書提出後、参加承認通知の発信をもって正式な参加確定とします。

申し込み先メールアドレス technical@para-ath.org

13. 合格基準

筆記試験で80%以上の正答があり、指定の実地研修を終えた者はWPANTO 資格保持者として証書を授与。(10. 試験の構成を参照)

14. 結果発表

試験終了後2週間以内を目途。本人及び所属する都道府県陸協の双方に可否を通知。

本人には獲得点数を通知。筆記試験終了後には試験問題の解説を実施。

15. 合格者の活動範囲

JPA NTO 規程による。2024年5月に開催される世界パラ選手権の競技役員として選抜される可能性もあるので、申込書に希望の有無を記入すること。希望者には個別に意向調査書

をメールで送信します。

16. 合格後の対応

WPA NTO 資格保持者はメーリングリストに登録され必要な情報が共有されます。

メーリングでは、各大会に派遣された NTO の報告書も共有。

すべての WPA NTO 資格保持者を対象とした定期的な学習会やオンラインセミナーを実施。

17. 問い合わせ technical@para-ath.org